

## 応用機能の設定

下記の応用機能を利用する場合は、有償オプション SW-AD1-xxxx の購入が必要です。

1. 漢字送信機能 (USB キーボード (HID) / キーボード 経由)
2. GS1 編集機能
3. GS1 フォーマット機能
4. データ照合機能

無線式リーダで応用機能を有効にした場合は、ペアリングとのリッ再確立を行ってください。

### 応用機能を無効にする



### 漢字送信機能を有効にする

漢字送信機能を有効にすることで、USB キーボード (HID) / キーボード インターフェイス経由で他のユーティリティなどを介さず、直接アプリケーションに漢字やかなを入力することが可能になります。但し、この機能は、全てのPC環境で動作するわけではありません。アプリケーションとの組み合わせなどにより動作しない場合がありますので、ご了承ください。

#### 制限事項

バッファ容量には制限があります。制限を超え、オーバーフローが発生した場合は、グッドリードビープの前に低音のイレビープを数秒鳴動し、下記のメッセージを送信します。

<プリフィックス>OVERFLOW<サフィックス>



設定後、下記のリセットコードをスキャンしてください。



上記で設定したキーボードオプションの設定を元に戻す場合は、下記をスキャンしてください。但し、漢字送信機能を利用する場合は、上記の設定表通りにスキャンを行う必要があります。

テキモード 切  KBDNPS0.	CTRL+ASCII 入力 切  KBDCAS1.	ファクション切-送信 切  KBDTMD0.
--	--	---

## 漢字送信機能を有効にする(マイナバ - QR UTF-8 変換モード)

漢字送信機能を有効にすることで、USB キーボード (HID) / キーボード イターフェイス経由で他のユーティリティなどを介さず、直接アプリケーションに漢字やかなを入力することが可能になります。但し、この機能は、全ての PC 環境で動作するわけではありません。アプリケーションとの組み合わせなどにより動作しない場合がありますので、ご了承ください。

### 制限事項

バッファ容量には制限があります。制限を超え、オーバーフローが発生した場合は、グッドリードビープの前に低音のイレビープを数秒鳴動し、下記のメッセージを送信します。

<ブリーフ>OVERFLOW<ブリーフ>

<p>漢字送信機能有効 (マイナバ - QR UTF-8 変換モード)</p> 	<p>設定後、下記のリセットマークをスキャンしてください。</p>  <p>RESET_.</p>
<p>日本語キーボード, 全ブリーフ Enter, テキスト, CTRL+ASCII 入力, ファクション送信</p> <p>TRMUSB134;VSUFQR;PLGFOE1;PLGFONUTFconf;KBDNPS1;KBDTMD1;KBDCAS0.</p>	

上記で設定したキーボードオプションの設定を元に戻す場合は、下記をスキャンしてください。但し、漢字送信機能を利用する場合は、上記の設定表通りにスキャンを行う必要があります。

<p>テキスト</p>  <p>KBDNPS0.</p>	<p>CTRL+ASCII 入力</p>  <p>KBDCAS1.</p>	<p>ファクション送信</p>  <p>KBDTMD0.</p>
---	--	---

## GS1 編集機能を有効にする

GS1 編集機能には、下記の 4 パターンが用意されています。

### パターン 1

識別子 (AI) を自動検出し、下記のように AI データをカンマ (,) で区切って出力します。識別子 (AI) は出力しません。

<プリフィックス>AI データ 1, AI データ 2, AI データ 3<サフィックス>

### パターン 2

識別子 (AI) を自動検出し、下記のように AI データを<CR> (0Dhex) で区切って出力します。識別子 (AI) は出力しません。<CR>は、USB キーボード / キーボードインターフェイスでは、Enter キーとして出力されます。

<プリフィックス>AI データ 1<CR>AI データ 2<CR>AI データ 3<サフィックス>

### パターン 3

識別子 (AI) を自動検出し、下記のように AI データを<TAB> (09hex) で区切って出力します。識別子 (AI) は出力しません。

<プリフィックス>AI データ 1<TAB>AI データ 2<TAB>AI データ 3<サフィックス>

### パターン 4

下記のように識別子 (AI) を括弧 ( ) で囲んで出力します。

<プリフィックス>(AI1) AI データ 1 (AI2) AI データ 2 (AI3) AI データ 3<サフィックス>

(\*) 上記パターン以外の出力を行いたい場合は、弊社又は販売店までご相談ください。

### I7-発生時の出力

読み取った GS1 コードのフォーマットに I7-があった場合、GS1 編集機能は動作しません。グッドリードビープの前に低音の I7-ビープを数秒鳴動し、下記の通り、そのまま読取データを送信します。

<プリフィックス>読取データ<サフィックス>

## GS1 編集機能(パターン 1 : カマ区切り)を有効にする

GS1 編集機能 (パターン 1 : カマ区切り)



PLGFOE1;PLGFONGS1CammaFormatConf.

設定後、下記のリセットコードをスキャンしてください。



RESET\_.

## GS1 編集機能(パターン 2 : CR/Enter キー区切り)を有効にする

GS1 編集機能 (パターン 2 : CR/Enter キー区切り)



PLGFOE1;PLGFONGS1CRFormatConf.

## GS1 編集機能(パターン 3 : TAB 区切り)を有効にする

GS1 編集機能 (パターン 3 TAB 区切り)



PLGFOE1;PLGFONGS1TabFormatConf.

設定後、下記のリセットコマンドをスキャンしてください。



RESET\_.

## GS1 編集機能(パターン 4: AI 括弧囲み)を有効にする

GS1 編集機能 (パターン 4: AI 括弧囲み)



PLGFOE1;PLGFONGS1DefFormatConf.

## GS1 フォーマットチェック機能を有効にする

GS1-128 や GS1 Databar の識別子 (AI) や AI データが正しいフォーマットでエンコードされているかをチェックする機能です。GS1 フォーマットチェック機能には、標準、医療用医薬品、料金代理収納フォーマットの 3 種が用意されています。用途に応じて、使い分けてください。

### フォーマットエラー無しの場合

読取データの後ろに「,OK」が付加送信されます。

<プロフィックス>読取データ,OK<サフィックス>

### フォーマットエラー有りの場合

読取データの後ろに「,ERROR nnn」が付加送信されます。エラーコードは、常に 3 桁の数字です。

<プロフィックス>読取データ,ERROR nnn<サフィックス>

GS1 フォーマットチェック (標準フォーマット) 有効



PLGFOE1;PLGFONGS1FormatChkConf.

設定後、下記のリセットコマンドをスキャンしてください。



RESET\_.

GS1 フォーマットチェック (医療用医薬品フォーマット) 有効



PLGFOE1;PLGFONGS1FormatMdcChkConf.  
又は  
GS1 フォーマットチェック (医療用機器/材料等フォーマット) 有効



PLGFOE1;PLGFONGMACConf.

設定後、下記のリセットコマンド  
を入力してください。



RESET\_.

GS1 フォーマットチェック (料金代理収納フォーマット) 有効



PLGFOE1;PLGFONGFCCConf.

エラーコード	説明
ERROR001	AI (02) を含む GS1 バージョンコードに AI (37) が併用されていない。
ERROR002	AI (37) を含む GS1 バージョンコードに AI (02) が併用されていない。
ERROR003	AI (242) を含む GS1 バージョンコードに AI (01) もしくは AI (02) が併用されていない。
ERROR004	AI (242) を含む GS1 バージョンコードに AI (01) もしくは AI (02) のパッケージインジケータ「9」以外が使用されている。
ERROR005	AI (250) を含む GS1 バージョンコードに AI (01) と AI (21) が併用されていない。
ERROR006	AI (254) を含む GS1 バージョンコードに AI (414) が併用されていない。
ERROR007	AI (427) を含む GS1 バージョンコードに AI (01) と、AI (422) が併用されていない。
ERROR008	AI (0710)、AI (0711)、AI (0712)、AI (8200) の何れかをを含む GS1 バージョンコードに AI (01) が併用されていない。
ERROR009	AI (8020) を含む GS1 バージョンコードに AI (415) が併用されていない。
ERROR010	可変長タイプ AI のデータ部に必要な区切り文字が入っていない。
ERROR011	固定長タイプ AI のデータ部に必要のない区切り文字が入っている。
ERROR012	数字のみ指定可能な AI のデータ部にキャラクタ文字が入っている。
ERROR013	付加固定データタイプ AI の固定データ部に必要のない区切り文字が入っている。
ERROR014	固定桁数 AI のデータ桁数が不足している。
ERROR015	AI 番号領域に必要な区切り文字が入っている。
ERROR016	「ISO/IEC 15418 規格」に準拠している AI 番号が見つからない。
ERROR017	医療用医薬品 GS1 バージョンコードの先頭 AI 番号が (01) になっていない。
ERROR018	医療用医薬品 GS1 バージョンコードに規格 AI (01/17, 7003/30/10, 21) 以外が含まれている。
ERROR019	医療用医薬品 GS1 バージョンコードの AI (01) パッケージインジケータに「0」、「1」以外が使用されている
ERROR020	医療用医薬品 AI (30) を含む GS1 バージョンコードに AI (01) のパッケージインジケータ「2」以外が使用されている。
ERROR021	医療用医薬品 GS1 バージョンコードは、規格 AI (01/17, 7003/30/10, 21) の順番になっている必要がある。 AI (30) が AI (17) または AI (7003) よりも前に存在している。
ERROR022	医療用医薬品 GS1 バージョンコードは、規格 AI (01/17, 7003/30/10, 21) の順番になっている必要がある。 AI (10) が AI (17) または AI (7003) と AI (30) よりも前に存在している。 AI (21) が AI (17) または AI (7003) と AI (30) よりも前に存在している。
ERROR023	医療用機器/材料等 GS1 バージョンコードの先頭 AI 番号が (01) になっていない。
ERROR024	医療用機器/材料等 GS1 バージョンコードに規格 AI (01/17/30/10, 21) 以外が含まれている。

エラーコード	説明
ERROR025	医療用機器/材料等 GS1 バーコードで AI (30) を含むバーコードに AI (01) パッケージインジケータ「9」以外が使用されている。
ERROR026	医療用機器/材料等 GS1 バーコードで AI (01) パッケージインジケータ「9」を含むバーコードに AI (30) が併用されていない。
ERROR027	医療用機器/材料等 GS1 バーコードで AI (30) を含むバーコードに AI (17) と AI (10) / A (21) が併用されていない。
ERROR028	医療用機器/材料等の GS1 バーコードは、規格 AI (01/17/30/10, 21) の順番になっている必要がある。 AI (30) が AI (17) よりも前に存在している。
ERROR029	医療用機器/材料等の GS1 バーコードは、規格 AI (01/17/30/10, 21) の順番になっている必要がある。 AI (10) が AI (17) と AI (30) よりも前に存在している。 AI (21) が AI (17) と AI (30) よりも前に存在している。
ERROR030	料金代理収納 GS1 バーコードに規格 AI (91) 以外が含まれている。
ERROR031	料金代理収納 GS1 バーコードのチェックディジット(モジュール 10) に誤りがある。
ERROR032	料金代理収納 GS1 バーコードの請求書発行企業コード 1 桁目に「5」または「9」以外が使用されている。

## データ照合機能を有効にする

読み取ったデータを 1 対 1 照合して、結果を出力する機能です。照合元データを読み取ると、ブザーリポート音を鳴動し、読取データを通常フォーマット <プロフィックス>読取データ<サフィックス> で送信します。

次に照合対象データを読み取ると、結果に応じて、下記のようにブザーを鳴動し、結果を送信します。

### データ照合 OK の場合

ブザーリポートの前に高音の OK ブザー音を数秒鳴動し、下記のフォーマットでメッセージを送信します。読取データの後ろに「,OK」が付加送信されます。

<プロフィックス>読取データ,OK<サフィックス>

### データ照合 NG の場合

ブザーリポートの前に低音の NG ブザー音を数秒鳴動し、記のフォーマットでメッセージを送信します。読取データの後ろに「,NG」が付加送信されます。

<プロフィックス>読取データ,NG<サフィックス>

データ照合機能有効



PLGFOE1; PLGFONCompareFormatConf.

設定後、下記のリセットコマンド  
を実行してください。



RESET\_.

## マイツバ - OCR チェックゲージ 検査を有効にする

マイツバ - OCR を読み取り、チェックゲージ 検査を行います。OCR 読み取りには、別売の OCR ライセンスが必要になります。

マイツバ - OCR を読み取ると、結果に応じて、下記のようにビープを鳴動し、結果を送信します。

### チェックゲージ 検査 OK の場合

下記のフォーマットで読取データを送信します。

<ブリーフ>リファックス>読取データ<サフィックス>

### チェックゲージ 検査 NG の場合

下記のフォーマットで NG メッセージを送信します。

<ブリーフ>リファックス> NG<サフィックス>

<p>マイツバ - OCR チェックゲージ 検査有効</p>  <p>PLGFOE1; PLGFONOCRConf.</p>	<p>設定後、下記のリセットコマンド をスキャンしてください。</p>  <p>RESET_.</p>
---	--

